



博士課程留学生による科学英語指導！

高校理数科3年生を対象とした「青鵲課題研究AP」では、国際的に活躍する人材の育成を目指し、科学英語の習得に挑戦しています。今年は佐賀大学博士課程の留学生の方10名に5月から7月に集中して6回も来ていただき、英語によるプレゼンテーションおよび論文（レポート）の英語の翻訳について、オールイングリッシュで指導を受けています。その成果を6月16日（木）の「英語による課題研究発表会」で披露します。3年生のがんばりに乞うご期待！



科学英語の指導風景
(2022年5月20日)

Specialized Field Seminar!

高校理数科2年生を対象とした「青鵲課題研究」では、同じ学部・学科を志望する仲間と研究チームを組み、その学部・学科に関連した研究テーマで課題研究を行います。そのための準備とキャリア教育の一環として、佐賀大学理工学部化学、物理、機械、電気・電子、情報、都市工学コースおよび農学部から9名の先生方に、加えて佐賀大学の学生さん（本校の卒業生を含む）12名に来ていただき、大学での学びの内容や大学生活／研究生活等について講演していただきました。生徒たちは自分が志望する学部・学科の先生方や先輩方に直接お話を聞くことができ、自分の将来の姿を重ね合わせながら真剣に聞き入っていました。



Specialized Field Seminar
(2022年4月27日)

統計に関する講演会！

高校普通科の生徒を対象とした「青峰探究」では、SDGsもしくは自分が志望する学部・学科に関連した研究テーマを設定し、課題研究に取り組みます。その準備として、佐賀県庁政策部統計分析課と連携して、立教大学経営学部長の山口和範教授にお越しいただき、統計調査の意義とその利用法に関して講演していただきました。ぜひ自分たちの探究報告に統計という客観性を取り入れてほしいと期待しています！



統計に関する講演会
(2022年6月2日)